



情報科学芸術大学院大学附属図書館

vol. 19

2021.9

IAMAS 図書館便り

IAMAS [イアマス] とは、情報科学芸術大学院大学の英語表記の頭文字を取った略称です。



山田晃嗣准教授著作

特集 情報工学 山田 晃嗣

→自作を語る／思い出の一冊／学生に薦める一冊

●図書館活用術 (1) 他の図書館から「相互貸借」



この特集では、IAMASの教員に、自著・思い出の一冊・お薦めの本などを紹介してもらいます。第19回は、山田晃嗣准教授です。

→自作を語る

「IAMASにおけるネットワーク環境について2016」『情報科学芸術大学院大学紀要Vol.8』（2016年）p.95-99

IAMASに来てから、私は学内ネットワークなどのシステムを担当してきた。この研究ノートではその当時構築したネットワーク・システムの構成（2020年12月まで利用）などを紹介している。IAMASでは約5年ごとにシステム総入れ替えがあり、ここで紹介したシステムは一つ前のシステムであることを考慮して読んでいただきたい。

IAMASが2014年にソフトピアジャパン・エリアに移転した直後に構築となったこのシステムでは、LAN認証を強化してセキュリティを意識した構成となっている。仮想デスクトップ環境（VDI）を初めてIAMASに学務作業として導入したことも印象深い。導入直前でMicrosoft社Windows7のサポートが5年契約途中で切れることが判明し、急遽Windows10へ変更したことで問題がいくつか発生したが、IAMAS事務作業において、現在ではなくてはならない存在となった。

なおこの研究ノートにもっと記述したいことがあったが、セキュリティ的な配慮から省略した内容となっている。ここが知りたいなどあれば直接聞いて欲しい。



情報科学芸術大学院大学 /
2016年

→思い出の一冊

『フーリエの冒険』（言語交流研究所ヒッポファミリークラブ、2009年）

学生の頃、大学生協の書籍購買部の一角で売られていた書籍が「フーリエの冒険」。フーリエ変換を勉強するためという理由ではなく、表紙のイラストの様子からつい買ってしまったという私の中でも珍しい本である。

内容はフーリエ工数級に始まり、書籍全体としてフーリエ変換の解説が展開されている。しかし興味深いと感じたのは、数式に使われている数学的トピックがバックトラックするように全て解説されており、それらを読めばフーリエ変換を理解できる構成になっていたことである。例えば、三角関数 \sin やラジアンなど高校数学で学習されるものは一般に説明が省略される傾向にあるが、この本ではページを割いて意味を説明している。微分・積分からマクローリン展開に至るまで、重要な数学的トピックの説明を引用文献に任せるのではなく、この書籍の中で説明しているところが面白く、学生時代の思い出深い本となった。この書籍は数式を読むのは苦手だけど、フーリエ変換を理解したい、という方はぜひこの本を勧めたい。

なお、この書籍は研究室の後輩に貸した後、私の手元に戻って来ることはなく、その後再び購入したという経緯を持っており、その意味でも個人的に思い出深い本である。



言語交流研究所ヒッポファミリークラブ /
2009年

→学生に薦める一冊

岡田美智男著『弱いロボット』(医学書院, 2012年)

この内容に関係する書籍もその後出版されているが、私自身がロボット共生の方が関連深いし、そちらの方が興味のある方も多いと思われるので、岡田先生の「弱いロボット」を紹介したい。

ロボットに関して研究や開発に携わると、一般に「強いロボット」を意識して研究をすることが多いし、そのような成果を一般の方々も求める傾向にあると思われる。少なくとも以前の私はそうだった。多くのテクノロジーはそうした意識から進化してきたため、この意識そのものの価値は否定しない。

しかし、この本では対象となるICT機器やロボットなど、何を達成できるかという高性能さで見る「足し算としてのデザイン」だけではなく、「引き算としてのデザイン」を提案し、その意義を唱えている。後者の考えは、ロボットの高性能な機能を抑えて弱さをポジティブに捉え、それらを人との円滑な関係構築に活かそうとするものである。

近い将来、人とロボットが共生する時代が到来した時、高性能なロボットは我々にとって身近な存在かもしれない。その時、ロボットをデザインする者が考慮しておいて欲しい考え方である。我々の将来を豊かにするという点で、モノを作る方にぜひ一読して欲しい本である。



医学書院/2012年

◆利用案内

■開館時間 月-木 10:15-19:00 / 金 11:15-20:00 (コロナ対策中は下記に変更)

■休館日 土曜日・日曜日・祝日、年末年始、臨時休館日(蔵書点検など)

■貸出

学生 20冊・3週間以内

卒業生 5冊(図書のみ)・2週間以内 (コロナ対策中は休止)

学外者 2冊(図書のみ)・2週間以内 (コロナ対策中は休止)

※新型コロナウイルス感染症対策のため、一部のサービスを変更しています。

- ・開館時間：月-金 12:00-19:00
- ・学外の方(卒業生を含む)の利用禁止
- ・マスクの着用、図書館入口での手指消毒の実施



図書館活用術（1）他の図書館から「相互貸借」

司書の渡辺です。いつも図書館をご利用いただきありがとうございます。

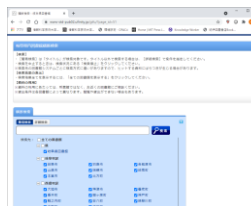
図書館は、学生・教職員の皆さんが研究等に必要な資料を「すぐに、すべて」提供できることが理想です。…理想ではあるのですが、限られた予算、限られたスペース、選書の方針など、現実にはさまざまな制限が付きまといまいます。これは館種・大小を問わず、すべての図書館が頭を悩ませている問題です。

そこで図書館は、ひとつの館では解決できないこの問題を、多くの館で互いに協力することで乗り越えようとしています。ここでは当館が参加・利用しているいくつかのサービスについて紹介します。

【岐阜県内図書館の相互貸借サービス】

当館で所蔵しておらず、また絶版等の理由で購入も困難な図書は、岐阜県図書館をはじめとする他の図書館から借り受けて、皆さんに提供することができます。こちらで所蔵している図書を他館に貸し出すこともあるので、図書館の間では「相互貸借」と呼称しています。最もよく借り受けを申し込むのは岐阜県図書館ですが、県図書館でも所蔵していない図書については、他の大学図書館、市町村立図書館に申し込むこともあります。

県内図書館でどのような図書を所蔵しているかについては、県図書館が公開している「岐阜県内図書館横断検索」のページで一括して検索することができます。相互貸借を申し込めば県図書館を中心とした定期配送便で申込館に送付してもらえます（届くまでの時間や貸出期間は、館によって異なります）。現在はコロナ感染予防対策のため、県内の多くの図書館が休館・サービス制限を行っていますが、相互貸借サービスは平常通りなので、積極的に活用してください。



岐阜県内図書館横断検索



CiNii Books

【CiNii Books】

専門性の高い図書や洋書は、県内図書館では入手できないこともあります。そのような図書は大学図書館の所蔵を調べるのですが、その際に用いるのが国立情報学研究所（NII）が提供するデータベース「CiNii Books」です。当館を含む全国の大学図書館の所蔵を検索することができます。相互貸借も、大学により制限事項は異なりますが申し込むことが可能です。

【国立国会図書館サーチ】

日本最大の図書館は、図書だけで1,100万冊以上の蔵書数を誇る国立国会図書館です。近年はWebサービスが充実し、蔵書検索、雑誌記事・論文検索、デジタルコレクションなどさまざまなコンテンツを公開しています。これらを一括して検索することができるのが「国立国会図書館サーチ」です。国立国会図書館をはじめ、全国の公共・大学・専門図書館や学術研究機関等が提供する資料、デジタルコンテンツを統合的に検索できる『知』のアクセスポイントです。



国立国会図書館サーチ

【今回紹介したサービスのURL】

岐阜県内図書館横断検索：https://www-std-ub02.ufinity.jp/gifu/?page_id=51

CiNii Books：<https://ci.nii.ac.jp/books/>

国立国会図書館サーチ：<https://iss.ndl.go.jp/>